



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算2883回 第34例会
2016年 3月11日
毎週金曜日

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

2015-2016年度 R | 会長
K.R. "ラビ" ラビンドラン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171

◀ 例会場 事務局 ▶

清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2015-2016年度 人吉ロータリークラブテーマ

ロータリーの贈り物を届けよう

— 先ずは自分自身に
そして周りの人達に —

本日の進行 (目次)

会長の時間 P1~2
幹事報告、出席率報告、会務報告 P2
Rの友紹介 P2~3
九州電力(株) 卓話「電力の小売全面自由化について」
P4~5
ニコ箱.R財.米山奨学金 寄付カード P5
R情報ロータリー知識クイズ解答 P6

点 鐘 延岡研一 会長

歌 唱 ヲグリーガー 新堀純子 委員

国 歌 「君が代」

R S 「我等の生業」

司会・進行 戸高克彦 プログラム副委員長

来訪者紹介

九州電力(株) 執行役員
熊本支社長 藤本 淳一 様
(熊本RC)
// 人吉配電事業所長 宮崎 昭 様
// 人吉営業所長 寶代 誠志 様

会長の時間

会長 延岡研一



本日は、先ほど紹介しましたが、熊本RC会員でもあります、九州電力(株)執行役員支社長藤本淳一様において頂き、皆さん、特に事業者としては大変興味のある「電力自由化」について卓話を

して頂きます。

藤本様は8年前、小林年度の2008年3月14日の例会で環境保全卓話として「九州電力の現状

とエネルギー・環境問題への取り組み」の演題で卓話をさせて頂いております。

当時は九州電力熊本支店副支店長でしたが、今日は執行役員熊本支社長となられまして再びの卓話をさせて頂きます。

奇しくも、今日3月11日、東日本大震災から5年の節目を迎える日です。

節目と言いつつも、報道されていますように、また私も昨年5月にこの目で見てきましたが、まだまだ復興の道半ばです。特に事故を起こした福島第一原子力発電所の周辺地域では、帰るにも帰れない、復興するにも除染作業しかできない地域が多く、避難解除への道のりはまだまだです。

この震災で電力業界にも大激震が走りました。先に述べた福島第一原子力発電所の事故です。この事故については詳しく説明する必要はないでしょうが、この事故を契機に地域独占の電力会社への批判が高まり「電力自由化」の流れが加速して今に至っています。

今日はニュートラルな立場で「電力自由化」について話をさせて頂きますが、九州電力のPRも少しはして頂いてもいいと思いますので、どうぞよろしくお祈りします。

卓話の中では話しにくいでしょうから、私から紹介しますが、2月23日に新電力では5位にあった「日本ロジテック協同組合」(元々は、千葉県銚子市の漁業関係者らが外国人研修生受け入れのため2007年に設立した中小企業事業協同組合で2009年から大口電力小売りに参入し11年度売上4億円から3年後の14年度売上高555億円と急成長)が新電力事業から撤退しました。この会社もそうですが、参入する新電力のほとんどが自前の発電所を保有していないので、電力を買って売るスタイルです。今週報道されていましたが、熊本市がこの会社に電気を売って2億円ほどが未回収になっています。売った方も大変ですが、実は買う方も気を付け

ないといけません。安い電気を買えたのでその分で設備投資などをした場合に、電気を購入している会社が潰れたらどうなるか。電気が止まることはないのですが、新たな会社との契約が必要となり、予定していた電気代が増えて経営を圧迫するというリスクも考えなくてはなりません。

電力自由化がスタートした後も雨後の竹の子のようにできている新電力会社ですが、事業の継続性については疑問を持って対応していく必要があるのではないのでしょうか。

最後に、今日は九州電力(株)人吉営業所長の寶代様、人吉配電事業所長の宮崎様にもおいで頂いております。

九州電力様は、30年前の1986年8月15日に当時の人吉営業所長、西橋禎輔様が入会されましたが、皆さんご承知の通り原発停止による経営悪化により2013年9月27日に当時の片岡営業所長が退会されました。これは人吉だけではなく、全営業所での対応でありますし、また、九州各地で行ってきた各種ボランティア活動も縮小せざるを得ない状況となりましたが、ようやく4年振りに「九州の森ひとよし」も復活し、人吉RCと多良木RCからも若干名ですが参加させていただきます。

原発稼働率もまだ半分で、電力自由化も始まり、経営環境も厳しいものがあるとは思いますが、九州電力様が九州のトップリーダーとして再び活躍して頂く事と人吉だけでなく九州各地の所長が早くロータリーアンに復帰して頂きます事を願ひまして会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 水野虎彦

【理事会の承認事項】

- ・3月定例理事会において、第17回日本早期認知症学会学術大会への寄付の件を承認。

【連絡事項】

- ・H28年度 民謡民舞九州地区大会の入場券販売の案内 開催 4月9日・10日(土・日)
- ・4月の定例理事会は4月8日12:00～あゆの里別室にて。
- ・連絡、明日の大口RC創立40周年記念式典、12時15分人吉市役所別館(西間下町)に集合

【回覧物】

- ・人吉医療センターより広報誌「翔」

【例会変更取止め】

熊本東RC3/29→午前9時～新世代の為の青少年卓球大会のため 熊本市総合体育館へ変更
 〃 4/5→19時～花見家族例会のため
 ダイニングカフェ彩へ変更

出席率報告

委員長 漆野智康

会 員 数	63名	本日の出席率	
出 席 免 除	3名	85.0%	
欠 席 者 数	9名	2/26 出席率	81.67%
出 席 者 数	51名	補 填 数	6名
免除会員出席者数	0名	修正出席率	91.67%

*届け出欠席 岩本・葉山・塚本・北・中川・青木
尾上・内藤・堀川

*出席免除会員(b) 増田, 愛甲, 釜田

*メークアップ 人吉RAC40周年; 高山・竹長・中村
川越・葉山・下田

会務報告

【ロータリーアクト委員会】 委員長 平田フク

本日7時30分より九日町の一富士旅館にて人吉RAC創立40周年記念式典の反省会・打上げを兼ねた第1例会を行います。ご参加の方々どうぞ宜しくお願いいたします。

【米山記念奨学委員会】 委員長 山賀勝彦

先週3月6日(日)熊本市で行なわれました米山奨学生終了式に陳セイさんのサブ世話クラブとして出席して参りました。

陳さんは7月、10月米山月間の2回人吉RC例会に参加。その後卒論や就活で忙しい様子でしたが無事に就職も決定したそうです。

3月26日、地区大会夜の人吉ナイトで最後の挨拶を頂くことになっています。

【雑誌委員会】

ロータリーの友3月号紹介

紹介者 竹長一幸

横組の方から、表紙の写真は梅の木にとまったメジロです。別府東ロータリークラブの方が大分市の護国神社で撮影されたものです。護国神社では毎年3月の第一日曜日に「梅花祭」が催されており、今年も先週の日曜日6日に行われたそうです。

P3、「身をもって示す」というタイトルでRI会長メッセージが掲載されています。ラビンドル会長は、地元スリランカにあるインターアクトクラブでスピーチをされた時に、インターアクターたちはスピーチの内容よりも着ているスーツやネクタイなど外見の方に関心があるという事に気づいたそうで、その事から身をもって示す方が、言葉で伝える教訓よりはるかに伝わるという事を実感されたそうです。

我々ロータリアンは地域のリーダーであっ

て一定の責任も伴いますので、私たちの考え、発言、行動など身をもって示して行きましよう」と述べられています。

P7～P11「子どもたち、若い人たちが夢を持てる未来のために」というタイトルで特集が組まれています。多くのロータリークラブで青少年や子ども達への奉仕を実施しており、それらの活動内容が紹介されています。いくつか紹介すると、岡山南RCでは保育園児と保護者を対象に「親子で学ぶ交通安全教室」を実施したそうです。また、富山県の高岡万葉RCでは20年以上前から東南アジアを中心にさまざまな国際奉仕活動をされているようで、4年前からはラオスの職業訓練校にミシンの購入費を寄付しているそうです。その他にもさまざまな活動内容が紹介されています。

P12～P17「心は共に 東日本大震災 あれから5年・・・」というタイトルでロータリー希望の風奨学金の5年間の活動について掲載されています。2011年の3月11日に発生した東日本大震災から今日でちょうど5年になります。

2011年の11月に発足した「ロータリー希望の風奨学金」では2015年12月現在までに228人が奨学金を受給しているようで、そのうち80名が卒業などで給付が終了し、現在は136人が日本の各地で奨学金を受給し学んでいるそうです。この活動は2033年まで継続して行われるようで、今後も更なる支援をお願いしますという事で、運営の状況なども報告されています。

もう一つは、「神からの偉大な贈り物」というタイトルで、震災直後にオーストリアのロータリークラブからの呼びかけで、子供たちが一時的にオーストリアへ避難したことをきっかけに、一人の少年がウイーン国立音楽大学に入学するまでの感動的なストーリーが紹介されています。

P18～P21では 3月は水と衛生月間という事で、「水と衛生」に関するロータリアンの取り組みが紹介されています。世界には安全な水を得られない人々が7億6800万人います。全人口の5分の2近くが衛生的なトイレを使うことが出来ません。また、水を介して感染する病気は、特に5歳未満の子供の死亡率・罹患率を上げる大きな要因の一つとなっています。世界中の人々が安全な水を利用し、適切な衛生施設を使えるよう、ロータリアンは「水と衛生」の重点分野で奉仕活動を行っています。6つの重点分野の中でロータリアンが取り組む活動として最も多いものが、「水と衛生」の重点分野であり、主に次のような活動が実施されています。

- ・地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善。
- ・持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を行う為の能力向上。

- ・安全な水と衛生の重要性について、地域社会の人々の認識を高める為の支援。
 - ・水と衛生に関連した仕事で活躍する事を目指す専門職業の為の奨学金支援。
- など、幅広く取り組んでいるそうです。

縦組の表紙は、福岡の大川ロータリークラブの方が撮影された写真で、昨年3月に台湾の職業訓練学校を訪問した時の歓迎式典の様子だそうです。

P4～P8 「人は自然災害とどう向き合うか」というタイトルで愛知教育大学名誉教授の中井様の講演要旨が掲載されています。日本各地で起こる様々な自然災害から、人はどのように身を守るか、という事について語られています。その中で自然災害への備えとして3つの「助」を挙げられています。

- ①自助、自分の身は自分で守る。
 - ②共助、近隣の住民同士で助け合う。
 - ③公助、公的な機関、国や地方自治体で守る。
- この3つの助けが必要であると述べています。まとめで、人は自然から数々の恩恵を受けていますが、恩恵を知ると同時に、自然の脅威にも目を向け、自然と人間がいかに共存・共栄していくのかが大事ではないかとおっしゃっています。

P9～P12 わがまち・・・そしてロータリーでは埼玉県川越市が紹介されています。

P26～P27 のロータリーアットワークのコーナーでは「こぼれる笑顔」というタイトルで我が人吉RCの記事が出ています。

11月1日、秋空の下でロータリー財団の地区補助金を活用した初めての事業「人吉ロータリークラブ杯、知的障がい者陸上競技大会」を開催しました。第六グループの各クラブにも共催していただき、地元の陸上競技協会、法人会、企業、高校の協力と、NPO法人スペシャルオリンピックス日本・熊本の後援と運営アトバイスを得て開催しました。今年度の延岡研一会長のスローガン「ロータリーの贈り物を届けよう、まずは自分自身に、そして周りの人達に」を実践すべく、知的障がい者をはじめ、参加してくれた地域の皆さんへのロータリーからの贈り物として行った事業です。準備や運営に右往左往、四苦八苦しなながら、競技参加者42人を上回る80人のボランティアとロータリアン40人の力にも支えられて実施しました。立ち幅跳び、ソフトボール投げ、50メートル、100メートル、1500メートルの各競走に一生懸命チャレンジする競技参加者とそれを見守る観客、大会ボランティアの多くの声援、歓声、笑顔のこぼれる大会とすることができました。

その他、色々な情報が掲載されていますので是非、ご覧になってください。

外部卓話

電力の小売り全面自由化について

九州電力株式会社
執行役員熊本支社長 藤本淳一

皆さまこんにちは。九州電力(株)熊本支社の藤本でございます。本日は卓話の機会をいただき、大変感謝いたしております。自己紹介させていただきますと、熊本県の出身で、熊本での勤務は、平成18年から副支店長として2年間在籍しました。その後、平成26年から熊本支社長を拝命して、再び生まれたところで働かせてもらっています。そういった感謝の気持ちも含めて、話をさせていただきますので、よろしくお願いたします。



本日は、電力の小売り全面自由化について、気をつけなければならないところをまとめたパンフレットを使ってご説明いたします。また、弊社が4月1日から始める新料金プランについてもご紹介させていただけると有難いと思っています。

<いよいよスタート！家庭用の電力自由化>

4月1日から家庭用の電力自由化がスタートし、すべてのお客さまが電気の購入先を選べるようになります。今回、新しく自由化されるのは一般のご家庭や小規模店舗等で、全国の契約口数は約8,500万件、九州では約800万件に上ります。皆さまの家計にも直接影響するため、最近、マスメディアでも取りざたされているところ です。

これまで家庭用の電気料金は、電力会社が計算した原価を国が査定をして決定されていましたが、2016年4月からは新しく参入する新電力を含めた電気事業者が自由に設定できるようになります。一方、自由料金になると契約の折り合いがつかずどの事業者とも契約が結べない事態や、契約している事業者が撤退すること等も起こり得ます。こうした事態でも電気が供給される仕組みとして、2016年4月以降も九州においては弊社に規制料金での供給責任が課される

ことになっています。

事業者の形態については、すべての電気事業者に対して事業の形態ごとに「発電」、「送配電」、「小売り」のライセンスが付与されま す。このライセンスを受けた事業者であれば誰でも事業ができるということです。

<電力自由化のよくある疑問>

次に家庭用の電力自由化の「よくある疑問」についてお話しします。

Q：手続きはどうするの？

A：切り替え先の会社に申し込みをすれば九電への解約手続きは必要ありません。

Q：申し込みしないと停電するの？

A：申し込みをしなくても一切、停電はいたしません。何もしなければこれまでの九電との契約が継続されます。

Q：購入先を変えると電線を張り替えるの？

A：電線の張り替え等の工事は必要ありませんが、電気の使用量を細かく計量するためのスマートメーターに取り替えます。メーターは九電が取り替えるため、お客さまが取替料金を負担する必要はありません。

Q：選んだ先によって停電しやすくなったりするの？

A：新電力は、売るために調達した電気を九電の送配電線を使って送ることになりますので、新電力を選んでも電気の品質や停電のしやすさはこれまでと変わりません。

<事業者が守るべきルール>

消費者を不当な契約から守るため、2016年1月に事業者が営業活動の上で守るべきルールを整理した「小売り営業ガイドライン」が制定されました。このガイドラインには、電気の売り込み時に問題となる行為等が示されています。例えば、「料金請求の元になる使用電力量等を消費者に示さないこと」や「当社の電気は停電しにくい等、誤解を招く情報で自社のサービスへの誘導すること」は問題となる行為とされていますので、契約される際はご注意ください と思います。

<電力システム改革>

電力システム改革は3段階に分けて進められており、現在、第2段階の電力小売り全面自由化がスタートするところです。第1段階では、日本全国で電気をより安定して使えるようにするため、2015年に「電力広域的運営推進機関」が設置されました。第3段階では、誰もが公平に送配電線を使えるようにするため、電力会社の送配電部門が法的に分離され、これまでの電力会社は「発電」、「送配電」、「小売り」のライセンス毎に事業を分けることとなります。

電力会社の形態は、持ち株会社のもと3つのライセンス事業を置く形態や、送配電部門だけを切り出して運用する形態等が考えられますが、弊社を含め各電力会社が検討をしています。

<九電の新料金プラン>

今回、お客さまの電気の使用量や使い方によって、より生活にあわせてご利用いただけるように「スマートファミリープラン」、「スマートビジネスプラン」、「電化でナイト・セレクト」の3つのプランをご用意しました。良くなる部分もあれば見直しをしている部分もあるため、必ずしも安くなるとは限りません。どのような電気の使い方をしていくか計算に基づいて試算してみないと、電気料金が安くなるかどうかわかりませんので、是非、弊社の人吉営業所へお声かけいただき、試算をしてみてください。変更は4月1日以降、いつでもできますので、焦らずお考えいただきメリットが出そうであれば検討いただければ良いと思います。

<日本のエネルギー問題>

最後に将来の日本のエネルギーについてお話をさせていただきます。日本は自国のエネルギー源が乏しく輸入に頼らざるを得ません。そのため、エネルギー源を確保した上で、経済性、環境適合性を考えることが5年前までの考え方でした。それが大震災を経て、安心して生活をおくることが一番大事であると再認識され、安全性が最も大事なこととして追加されました。弊社の社長は、「原子力の安全文化を九州電力のDNAとして根づかせることが一番大事なことである」と申しております。原子力に対するご批判、ご指摘は十分受け止め、しっかり安全管理を実施して、ご心配をお掛けしないように運営したいと思っています。この点についても、何かございましたら人吉営業所にお話いただければありがたいと思っている次第です。

以上で私からのご説明を終わります。本日は貴重な時間をいただきありがとうございました。

【寄付カード】 ニコニコ箱委員長 永尾禎規 <ニコニコ箱委員会>

- ・熊本RC藤本淳一会員 今日とは卓話の機会をいただきありがとうございました。これからも人吉の宮崎・宝代の両所長とともに皆さまとの絆を深く続けられることを願っております。宜しく願いいたします。
- ・堤脩会員 孫誕生に対する寄付に対して4回目のマルチプル・ポールハリスフェローのバッジを頂きありがとうございました。
- ・延岡会長 藤本様、本日は卓話ありがとうございました。明日の植樹、宜しく願いします。電気について不明な点は今日お出で頂いている人吉営業所の宝代様、宮崎様に問い合わせましょう。
- ・山田会員 藤本支社長、卓話ありがとうございました。安全・安心の九州電力様を精一杯応援します。宮崎所長・宝代所長、人吉RCに入会されますことを願っています。明日の「九電の森」植樹に参加します。
- ・伊久美会員 藤本支社長様、宮崎・宝代所長様のご来訪ありがとうございました。
- ・井手会員 九州電力(株)藤本支社長様、本日の卓話ありがとうございました。また、宮崎事業所長様、宝代営業所長様、いつもお世話になりありがとうございます。
- ・大賀会員 今日とは熊本で会議のため早退します。明日は九電主催の植樹です。たくさんの方々の参加を宜しく願いします。

<米山記念奨学委員会>

- ・本田会員 私事ですが、弟が相良村村長三期目、働かせて頂くことになりました。この場をおかりしてですが、会員の皆様にも大変お世話になり感謝申し上げます。また、4月14日の私の祝賀会も重ねてお世話になります。発起人の代表として延岡会長や事務局の緒方様にも心より感謝をします。また恐縮もしています。
- ・伊久美会員 米山奨学基金特別寄付をいたします。

<人吉RC奨学基金委員会>

- ・延岡会長 ニコニコカードと同文

点 鐘 延岡研一会長

1. ロータリーの創設は1905年である。○
2. ロータリー創始者の一人ポール・ハリス氏は弁護士である。○
3. 全世界のロータリアン総数は、約122万人である。○
4. 世界のロータリアンが100万人に達したのは1986年である。○
5. 日本(関西)で国際大会が開催されたのは2004年である。○
6. 全世界のクラブ数は約3万5千クラブである。○
7. ロータリーができて最初の奉仕プロジェクトは、シカゴ市内の公衆便所設置であった。○
8. 5大奉仕部門とは、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕である。○
9. 日本のロータリーの創始者は、米山梅吉氏である。○
10. 日本の初のクラブは、東京に設立され、世界で855番目のクラブでした。○
11. ロータリー財団はポール・ハリス氏が設立した。
× (アーチ・クラフ会長が基金を設立、1928年にロータリー財団と名付けられる)
12. ポール・ハリス氏は1945(昭和20年)始めて日本に訪問した。
× (初来日は1935年)
13. 1000ドルをロータリー財団に寄付したらポール・ハリス・フェローになれる。○
14. ロータリー財団の恒久基金は、奉仕活動の資金として使われる。○
15. ロータリー財団の国際奉仕プログラムは人道的・教育的・文化的活動である。○
16. 米山奨学会は米山梅吉氏の功績を記念する意味で「米山基金」と名付けて始まった。(1953年昭和28年)○
17. 米山奨学会の寄付金は、すべて奨学生のために使われる。○
18. アジアにおいて最初にRCが設立されたのは日本の東京RCである。
× (フィリピン・マニラRC)
19. ロータリー財団月間は11月である。○
20. ポリオ・プラスとは、小児マヒと共にハシカ・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風の5つの主要伝染病を含む。○
21. 5月は青少年奉仕月間である。○
22. ローターアクト・インターアクト委員会は、新世代委員会とは別である。○
23. RYLA(ライラ)とは、14~30才までの青少年指導者養成プログラムである。○
24. ロータリー史上、東洋人で最初に国際ロータリーの会長に就任したのはフィリピンの人である。
× (インド)
25. ローターアクトクラブの会員の年齢は18~30才である。○
26. 青少年への奉仕に関するロータリーの標語は「各ロータリアンは青少年の模範」である。○
27. 日本で国際ロータリーの会長になった人は1人である。
× (3人 東ヶ崎 潔1968-69、向笠 広次1982-83、田中作次2012-13)
28. 日本語は国際ロータリーの公式用語ではない。× (公式用語)
29. 1935年(昭和10年)には日本はRI第70地区で22RCであった。○
30. ロータリー史上、日本人で最初にロータリアンになったのは福島喜三次氏である。○
31. 日本のロータリアンの数は世界で3番目に多い。○
32. 世界中どこのクラブも例会時間は1時間と決まっている。× (決まっていない)
33. 日本のロータリアンは「ロータリーの友」または「The Rotarian」のどちらかを購読する義務がある。○
34. 「ロータリーの友」は毎月発行される。○
35. 人吉RCの姉妹クラブは韓国と中華民国にある。○
36. 2014~2015年度におけるRIの人頭分担金は54ドルである。○
37. 2016年の国際大会は韓国ソウルで開かれる。○
38. ロータリー理解推進月間は1月である。
× (2014年10月に開催されました「国際ロータリー理事会」において年間特別月間変更が決定。
1月は職業奉仕月間となった)
39. ロータリーの国際大会は、4年に1度国を変えて行われる。× (毎年開催される)
40. 出席のメイクアップは地区以外ではできない。× (できる)